



# 平成23年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成23年2月10日

上場取引所 東 名

上場会社名 澁谷工業株式会社  
 コード番号 6340 URL <http://www.shibuya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 澁谷 弘利

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 吉道 義明

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日

TEL 076-262-1201

平成23年3月18日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年6月期第2四半期の連結業績(平成22年7月1日～平成22年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第2四半期	24,601	5.2	△714	—	△757	—	△936	—
22年6月期第2四半期	23,383	17.3	151	—	175	—	△47	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年6月期第2四半期	△34.00	—
22年6月期第2四半期	△1.75	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年6月期第2四半期	71,066	28,115	39.4	1,013.14
22年6月期	68,269	28,988	41.8	1,055.20

(参考) 自己資本 23年6月期第2四半期 28,035百万円 22年6月期 28,513百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年6月期	—	5.00	—	5.00	10.00
23年6月期	—	5.00	—	—	—
23年6月期 (予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年6月期の連結業績予想(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	11.7	1,720	△12.9	1,650	△19.0	570	△49.8	20.64

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社 (社名 )、 除外 一社 (社名 )

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年6月期2Q	28,149,877株	22年6月期	27,500,315株
② 期末自己株式数	23年6月期2Q	478,291株	22年6月期	477,911株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年6月期2Q	27,562,360株	22年6月期2Q	27,022,684株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
 なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 2「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成23年6月期の個別業績予想 (平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,500	13.6	450	△30.1	1,150	9.4	950	86.7	34.40

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、不況の底打ちから、中国をはじめ新興国向け輸出の増加を背景に緩やかな回復基調にありましたが、デフレが続くなか、海外経済の減速や急激な円高などの影響もあり、回復のテンポが減速し、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は246億1百万円（前年同期比5.2%増）、営業損失7億14百万円（前年同期は営業利益1億51百万円）、経常損失7億57百万円（前年同期は経常利益1億75百万円）、四半期純損失9億36百万円（前年同期は四半期純損失47百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、当社グループは第1四半期連結会計期間よりセグメント区分の変更を行っており、前年同期との比較は、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えて行っております。セグメント情報の開示における事業区分に関連する事項については、「3. 四半期連結財務諸表 (5) セグメント情報」に記載のとおりであります。

(パッケージングプラント事業)

パッケージングプラント事業において、酒類用プラントおよび薬品・化粧品用プラントの売上が増加したものの、食品用プラントの売上が減少したため、前年同期に比べて微増となりました。

その結果、連結売上高は151億78百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は5億36百万円（前年同期比49.0%減）となりました。

(農業用機械事業)

農業用機械事業において、西日本を中心とした柑橘類向け選果選別プラントの納入が増加したものの、落葉果樹類、根菜類向け選果選別プラントが前年同期に比べ大きく減少しました。

その結果、連結売上高は36億55百万円（前年同期比14.4%減）、営業利益は1億20百万円（前年同期比79.4%減）となりました。

(メカトロシステム事業)

メカトロシステム事業において、半導体関連機器は、LED関連機器が海外既存市場に一段落が出たことにより減少しましたが、国内向けが伸長し、前年同期に比べ微増となりました。医療機器は、好調な海外需要に支えられ大幅に増加し、切断加工機は、精密加工部品市場の好調さを受け、また、業界全体の底離れ感を受け、着実な伸長を見せました。

その結果、連結売上高は52億98百万円（前年同期比22.0%増）、営業損失は3億78百万円（前年同期は営業損失6億20百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比27億96百万円増の710億66百万円となりました。有利子負債については、EBシステム森本工場の建設資金17億50百万円および医療機若宮工場の取得・改修資金9億円を金融機関から調達したことにより、前連結会計年度末比22億89百万円増の121億84百万円となりました。純資産については、前連結会計年度末比8億72百万円減の281億15百万円となり、自己資本比率は39.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、2億74百万円の資金減少（前年同期は2億32百万円の資金減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失が13億円となり、売上債権の減少による資金増加が38億70百万円あったものの、たな卸資産の増加26億50百万円および未払金及び未払費用の減少15億65百万円による資金減少があったことによるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、9億68百万円の資金減少（前年同期は7億60百万円の資金減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が11億36百万円あったことによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、21億61百万円の資金増加（前年同期は6億84百万円の資金減少）となりました。これは主に借入金の増加によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より9億円増加し87億2百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年2月4日付で公表した連結業績予想の内容に変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

この変更により、税金等調整前四半期純損失が71百万円増加しております。

#### ② 企業結合に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分)および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,879	8,147
受取手形及び売掛金	20,196	24,086
製品	308	377
仕掛品	6,745	4,151
原材料及び貯蔵品	1,199	1,087
繰延税金資産	1,171	890
その他	955	802
貸倒引当金	△1	△5
流動資産合計	39,454	39,537
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,816	7,326
機械装置及び運搬具(純額)	1,279	1,148
土地	10,739	10,461
建設仮勘定	140	436
その他(純額)	844	944
有形固定資産合計	22,821	20,317
無形固定資産		
のれん	1,336	1,301
その他	274	286
無形固定資産合計	1,611	1,588
投資その他の資産		
投資有価証券	3,500	3,451
長期貸付金	7	8
繰延税金資産	2,960	2,696
その他	749	706
貸倒引当金	△38	△37
投資その他の資産合計	7,179	6,826
固定資産合計	31,611	28,732
資産合計	71,066	68,269

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,109	13,979
1年内償還予定の社債	60	60
短期借入金	5,504	4,976
未払法人税等	253	287
未払費用	2,137	3,718
賞与引当金	263	262
受注損失引当金	124	19
その他	5,241	2,741
流動負債合計	27,694	26,045
固定負債		
社債	120	150
長期借入金	6,499	4,708
退職給付引当金	8,013	7,646
役員退職慰労引当金	392	391
繰延税金負債	0	0
その他	230	339
固定負債合計	15,256	13,236
負債合計	42,950	39,281
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,392	11,392
資本剰余金	10,358	9,842
利益剰余金	7,110	8,182
自己株式	△429	△428
株主資本合計	28,431	28,988
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△361	△436
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△34	△37
評価・換算差額等合計	△396	△474
少数株主持分	80	474
純資産合計	28,115	28,988
負債純資産合計	71,066	68,269



(2) 四半期連結損益計算書  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)
売上高	23,383	24,601
売上原価	19,695	21,589
売上総利益	3,688	3,012
販売費及び一般管理費	3,536	3,726
営業利益又は営業損失(△)	151	△714
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	23	24
投資有価証券売却益	20	2
持分法による投資利益	—	2
固定資産賃貸料	28	25
その他	80	47
営業外収益合計	154	105
営業外費用		
支払利息	86	88
手形売却損	9	7
投資有価証券売却損	1	5
持分法による投資損失	2	—
為替差損	3	14
その他	25	31
営業外費用合計	130	148
経常利益又は経常損失(△)	175	△757
特別利益		
固定資産売却益	2	—
貸倒引当金戻入額	2	4
事業構造改善引当金戻入額	12	—
特別利益合計	17	4
特別損失		
固定資産処分損	1	3
投資有価証券評価損	51	10
減損損失	—	9
事業整理損	—	427
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	70
その他	20	26
特別損失合計	73	547
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	119	△1,300
法人税、住民税及び事業税	315	200
法人税等調整額	△130	△563
法人税等合計	184	△362
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△938
少数株主損失(△)	△17	△1
四半期純損失(△)	△47	△936

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	119	△1,300
減価償却費	659	707
のれん償却額	97	109
減損損失	—	9
事業整理損失	—	378
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	70
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	134	367
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	14	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△78	1
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	—	105
事業構造改善引当金の増減額 (△は減少)	△54	—
受取利息及び受取配当金	△26	△27
支払利息	86	88
持分法による投資損益 (△は益)	2	△2
投資有価証券売却損益 (△は益)	△18	3
投資有価証券評価損益 (△は益)	51	10
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,604	3,870
前受金の増減額 (△は減少)	1,245	22
たな卸資産の増減額 (△は増加)	113	△2,650
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,352	147
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△1,269	△1,565
その他	65	△308
小計	△100	35
利息及び配当金の受取額	27	34
利息の支払額	△75	△82
法人税等の支払額	△84	△261
営業活動によるキャッシュ・フロー	△232	△274
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△191	△301
定期預金の払戻による収入	191	470
投資有価証券の取得による支出	△275	△49
投資有価証券の売却による収入	382	65
有形固定資産の取得による支出	△173	△1,136
有形固定資産の売却による収入	2	67
無形固定資産の取得による支出	△27	△28
子会社株式の取得による支出	—	△21
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△756	—
その他	87	△35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△760	△968

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,173	3,291
短期借入金の返済による支出	△3,782	△2,760
長期借入れによる収入	—	2,650
長期借入金の返済による支出	△930	△844
社債の償還による支出	—	△30
自己株式の増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△135	△134
その他	△9	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△684	2,161
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△17
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,678	900
現金及び現金同等物の期首残高	6,652	7,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,973	8,702

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自平成21年7月1日至平成21年12月31日)

	パッケージングプラント事業 (百万円)	メカトロシステム事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	18,759	4,452	171	23,383	—	23,383
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	185	169	—	355	△355	—
計	18,944	4,622	171	23,738	△355	23,383
営業利益又は営業損失(△)	1,636	△730	△30	876	△724	151

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自平成21年7月1日至平成21年12月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める本邦内の割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間(自平成21年7月1日至平成21年12月31日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	3,219	265	329	3,813
II 連結売上高(百万円)				23,383
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	13.8	1.1	1.4	16.3

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品の販売、生産体制やサービスの類似性を基準とした事業部門を設置しており、各事業部門は包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業部門を基礎としたセグメントから構成されており、「パッケージングプラント事業」、「農業用機械事業」および「メカトロシステム事業」の3つを報告セグメントとしております。

なお、各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

事業区分	主要製品
パッケージングプラント事業	洗浄機、殺菌機、充填機、キャッピング機、ラベル貼機、函入函出積荷機、コンベア、製函機、函詰封かん機など
農業用機械事業	農業用選果・選別システムなど
メカトロシステム事業	レーザ加工機やレーザマーキングシステムなどのレーザ応用システム、ハンダボールマウンタなどの半導体製造システム、レーザ手術および治療装置や人工透析システムなどの医療機器など

2. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パッケージ ングプラ ント事業	農業用機 械事業	メカトロ システム 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	15,178	3,655	5,298	24,131	469	24,601	—	24,601
セグメント間の内部 売上高又は振替高	111	226	1	339	92	432	△432	—
計	15,289	3,882	5,300	24,471	562	25,034	△432	24,601
セグメント利益又は損 失(△)	536	120	△378	277	△137	140	△854	△714

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、洗浄事業、環境事業および繊維事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△854百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△856百万円および棚卸資産等の調整額1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成22年12月31日)

従来の「パッケージングプラント事業」は、第1四半期連結会計期間より「パッケージングプラント事業」および「農業用機械事業」の2つの報告セグメントに分割して表示しております。また、従来「メカトロシステム事業」に含めていた洗浄事業および環境事業は、「その他」に含めております。

なお、前第2四半期連結累計期間の事業の種類別セグメント情報を、当第2四半期連結累計期間において用いた報告セグメントにより表示すると、以下のとおりとなります。

前第2四半期連結累計期間(自平成21年7月1日至平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	パッケージ ングプラ ント事業	農業用機 械事業	メカトロ システム 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	14,487	4,272	4,344	23,104	279	23,383	—	23,383
セグメント間の内部 売上高又は振替高	220	50	1	271	171	443	△443	—
計	14,707	4,322	4,345	23,375	450	23,826	△443	23,383
セグメント利益又は損 失(△)	1,050	584	△620	1,014	△139	874	△723	151

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。